



2024年3月27日

各 位

会 社 名 株式会社ユアテック
代表者名 取締役社長 社長執行役員 太田 良治
(コード：1934 東証プライム市場)
問合せ先 常務執行役員経営企画部長 田村 岳裕
(TEL：022-296-2111)

2030ビジョンおよび中期経営計画（2024-2028）策定に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、当社グループの長期ビジョン「2030 ビジョン」および2025年3月期を初年度とする5か年の「中期経営計画（2024-2028）」を決議しましたのでお知らせいたします。

記

1. 策定の背景と目的

世界が様々な課題に直面するなか、当社グループを取り巻く外部環境も刻々と変化しております。このような外部環境の変化に適応するとともに社会的課題の解決に貢献し、社会の持続的発展と長期的な企業価値向上を実現するため、2030年代前半をターゲットとして「ありたい姿・目指すべき会社像」を描き、新たに長期目標・長期ビジョンである「2030 ビジョン」を策定いたしました。

また、現状とのギャップを埋めるために、いま何をすべきか「2030 ビジョン」からバックキャストし、目標や基本戦略・主要施策を設定した「中期経営計画（2024-2028）」を策定いたしました。

なお、資本効率を意識した経営の実践に向け、「2030 ビジョン」、「中期経営計画（2024-2028）」には数値目標として新たにROEを掲げております。

2. 2030 ビジョンについて

当社グループは、ミッションとして掲げた「未来をひらく Your technology」のもと、Yurtecグループのtechnology（技術）で社会のため、お客さまのために社会的課題の解決に貢献し、社会の持続的発展に向け未来を切りひらいてまいります。

また、「既存事業の深化と成長分野の拡大」、「サステナビリティ経営の推進」に鋭意取り組み、「次代を創る人財への投資」を展開することにより、2030年代前半での「連結売上高3,000億円企業」を目指し、さらにはその先の100年企業に向け、一步一步確実に歩んでまいります。

3. 中期経営計画（2024-2028）について

バックキャストにより抽出した課題を解決するための5つの基本戦略を策定し、各基本戦略に基づく主要施策を設定、グループ一丸となった施策展開により、2028年度数値目標の達成を目指します。

また、創業以来の事業エリアである東北・新潟での事業のさらなる深化を前提として4つの重点事業を設定し、それらの強化によりお客さまへの価値の提供と社会の持続的発展に貢献してまいります。

今後の投資の方向性としては3分野を設定し、積極的投資に取り組み、働きがいのある職場環境の実現と企業価値向上に向け前進してまいります。

以 上

Contents

「2030ビジョン」策定について	3
外部環境の変化	4
ミッション・ビジョン・基本方針・数値目標 ...	5

「2030ビジョン」策定について

世界が様々な課題に直面するなか、当社グループを取り巻く外部環境も刻々と変化しております。このような外部環境の変化に適応するとともに社会的課題の解決に貢献し、社会の持続的発展と長期的な企業価値向上を実現するため、2030年代前半をターゲットとして**「ありたい姿・目指すべき会社像」**を描き、新たに長期目標・長期ビジョンである**【2030ビジョン】**を策定いたしました。

当社グループは、ミッションとして掲げた**「未来をひらく Your technology」**のもと、**Yurtecグループのtechnology (技術)**で社会のため、お客さまのために社会的課題の解決に貢献し、社会の持続的発展に向け**未来を切りひらいて**まいります。

また、**「既存事業の深化と成長分野の拡大」**、**「サステナビリティ経営の推進」**に鋭意取り組み、**「次代を創る人財への投資」**を展開することにより、2030年代前半での「連結売上高3,000億円企業」を目指し邁進してまいります。

外部環境の変化

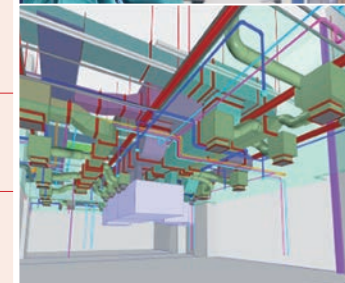
当社グループを取り巻く外部環境が刻々と変化するなか、建設業界への影響を把握し、持続的な成長と「長期目標・長期ビジョン」達成に向けて挑戦する

外部環境

- 2050年カーボンニュートラル社会実現への取り組み加速
- 再生可能エネルギーの電源比率上昇
- サステナビリティへの関心の高まりを受けたESG、SDGs経営推進の流れ
- 海外ODA案件の本邦予算の拡大
- 各種インフラの老朽化の進展
- 気候変動による災害激甚化
- 全国大での広域連系システムの整備および更新
- Beyond5G（いわゆる6G）の導入
- 人口減少と高齢化の進展、関東圏への人口集中
- ダイバーシティ・インクルージョンの推進（女性活躍、外国人の登用）
- AI、IoT、ロボット、ビッグデータなどの導入、活用によるデジタル化・DXの進展
- 長期的な賃金および物価上昇の可能性

建設業界への影響

- EV向け充電器、FCV向け水素ステーションなどの充電インフラ設備やZEB等の省エネルギー関連工事の増加
- 再生可能エネルギー関連工事の増加
- 海外工事の拡大（ODA、ベトナム再エネ関連工事、日本企業による投資拡大）
- 老朽化する各種インフラ設備の強靱化に伴うメンテナンス、リニューアル工事の増加
- 自然災害激甚化による電力の安定供給への影響
- 基幹送電網工事の増加
- DXおよびモバイル関連工事の増加
- 人口減少に伴う施工力不足
- 女性や外国人の積極的な活用の流れ
- 建設現場におけるデジタル技術（AI、IoT、BIM）などの活用加速
- 工事原価（人件費・材料費）の高騰



ミッション

未来をひらく *Your technology*

ビジョン(目指すべき会社像)

「安全・品質・信頼」の
ユアテックブランドの
さらなる高みを目指し、
お客さまに
価値を提供します

社会的課題の解決に貢献し、
社会の持続的発展とともに
成長し続けます

誰もが安心して
働きがいを感じることが
できる職場環境を
実現します

基本方針

- 既存事業の深化と成長分野の拡大
- サステナビリティ経営の推進
- 次代を創る人財への投資

数値目標

指標	2030年代前半(連結)
売上高	3,000億円
営業利益	200億円
ROE	8.0%



中期経営計画(2024-2028)



Yurtec

より、そう、ちから。
東北電力グループ

Contents

「中期経営計画(2024-2028)」サマリー	3
数値目標	4
基本戦略	5
主要施策	6-10
サステナビリティへの取り組み	11
事業ポートフォリオ	12
今後の投資の方向性	13
ユアテック企業グループ	14

「中期経営計画(2024-2028)」サマリー

2030ビジョンを実現するため、外部環境を踏まえた将来分析を行い、課題を抽出し、中期経営計画(2024-2028)を策定。持続的な成長と企業価値向上を目指す

(2022年度).....(2024年度)..(2025年度).....(2028年度).....(2030年代前半)

◎ 2030ビジョン | 基本方針：既存事業の深化と成長分野の拡大、サステナビリティ経営の推進、次代を創る人財への投資

◎ 中期経営計画 (2024-2028)

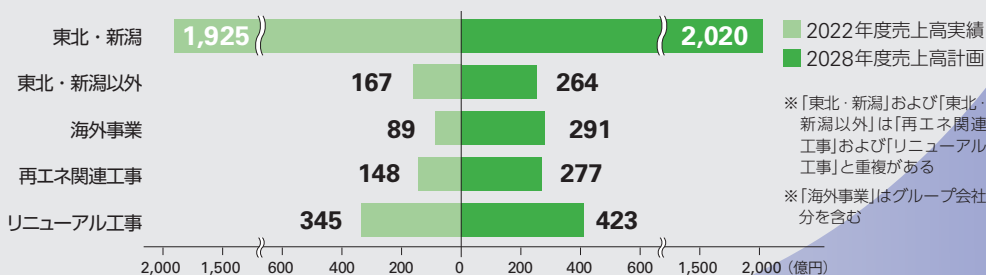
● 基本戦略

- グループ大での「安全・品質・信頼」の追求
- 東北・新潟のお客さまとの信頼関係維持・強化をベースとした事業環境変化への対応
- 成長分野への展開加速によるさらなる事業規模の拡大
- 魅力ある職場環境の構築と人財育成の強化
- サステナビリティ経営の実践による経営基盤の強化

● 投資の方向性

- 既存事業の深化
- 成長分野への取り組み加速
- 経営基盤の強化

● 事業ポートフォリオ



◎ 2030ビジョン

数値目標(連結)

売上高	3,000億円
営業利益	200億円
ROE	8.0%

ビジョン (目指すべき会社像)

- 「安全・品質・信頼」のユアテックブランドのさらなる高みを目指し、お客さまに価値を提供します
- 社会的課題の解決に貢献し、社会の持続的発展とともに成長し続けます
- 誰もが安心して働きがいを感じることができる職場環境を実現します

外部環境の変化 (2030年代の外部環境)

【国内市場】

- 人口減少と高齢化の進展、関東圏への人口集中
- 各種インフラの老朽化の進展と全国大での広域連携システムの整備および更新

【海外市場】

- 海外ODA案件の本邦予算の拡大

【技術・イノベーション】

- デジタル化
- DXなど技術の進展

【サステナビリティ】

- カーボンニュートラル社会実現への取り組み加速およびSDGs経営推進の流れ

現状 (2022年度実績) 数値実績(連結)

売上高	2,273億円
営業利益	95億円

中期経営方針 (2021-2025) 数値目標(連結)

売上高	2,400億円
営業利益	120億円

中期経営計画 (2024-2028) 数値目標(連結)

売上高	2,700億円
営業利益	135億円
ROE	6.0%以上

バックキャスト

数値目標

「2030ビジョン」からバックキャストすることにより中期経営計画(2024-2028)を策定、
そのターゲット年度である2028年度の数値目標を決定

数値目標

(指 標)

2028年度(連結)

売上高

2,700億円

営業利益

135億円

ROE

6.0%以上

外部環境変化やビジョンからバックキャストすることにより定量面、定性面での課題を抽出し、基本戦略を策定

ビジョン(目指すべき会社像)

1. 「安全・品質・信頼」のユアテックブランドのさらなる高みを目指し、お客さまに価値を提供します
2. 社会的課題の解決に貢献し、社会の持続的発展とともに成長し続けます
3. 誰もが安心して働きがいを感じることができる職場環境を実現します

外部環境

- ・ EV向け充電器、FCV向け水素ステーションなどの充電インフラ設備やZEB等の省エネルギー関連工事の増加
- ・ 再生可能エネルギー関連工事の増加
- ・ 海外工事の拡大(ODA、ベトナム再エネ関連工事、日本企業による投資拡大)
- ・ 老朽化する各種インフラ設備の強靱化に伴うメンテナンス、リニューアル工事の増加
- ・ 自然災害激甚化による電力の安定供給への影響
- ・ 基幹送電網工事の増加
- ・ DXおよびモバイル関連工事の増加
- ・ 人口減少に伴う施工力不足
- ・ 女性や外国人の積極的な活用の流れ
- ・ 建設現場におけるデジタル技術(AI、IoT、BIM)などの活用加速
- ・ 工事原価(人件費・材料費)の高騰

2028年度数値目標

連結売上高2,700億円、連結営業利益135億円

主な課題

定量面	・ 連結売上高427億円、連結営業利益40億円の向上 ② ③	
定性面	事業面	・ 外部環境の変化に応じた積極的な営業展開の促進 ③ ・ さらなる収益向上に向けた取り組みの強化 ②
	技術・ノウハウ面	・ 技術・技能継承の促進 ④ ・ 設計・VE・CDへの対応力強化 ②
	対外面・ブランド面	・ 労働災害、施工ミスゼロの達成 ①
	組織面	・ グループ会社・部門間連携の強化 ② ・ 現場代理人への業務支援の強化 ②
	人財面	・ 工事量増加等に対する人員確保 ④ ・ 社員エンゲージメントの向上 ④
	業務面	・ デジタル化への対応促進 ② ・ ガバナンス強化の促進 ⑤ ・ カーボンニュートラルに向けた取り組みの推進 ⑤

現状(2022年度実績)

連結売上高2,273億円、連結営業利益95億円

—(基本戦略)—

1
グループ大での「安全・品質・信頼」の追求

2
東北・新潟のお客さまとの信頼関係維持・強化をベースとした事業環境変化への対応

3
成長分野への展開加速によるさらなる事業規模の拡大

4
魅力ある職場環境の構築と人材育成の強化

5
サステナビリティ経営の実践による経営基盤の強化

ユアテックブランドである「安全・品質・信頼」を不変の価値として掲げ、
お客さまと地域から信頼され、選ばれる企業であり続ける

— (基本戦略) —

— (主要施策) —

1
グループ大での
「安全・品質・信頼」
の追求

- 協力会社を含めグループ一体となった安全文化のさらなる向上と現場安全・施工管理の充実・強化による、死亡・重篤・重大災害の撲滅
- 基本ルールの遵守、作業前・中・後の確認の徹底による施工ミスの撲滅
- 新技術の導入と品質管理手法の高度化等による施工品質の向上

創業以来の事業エリアである東北・新潟地域との絆をより強固なものとし、
事業環境変化に応じた強靱な企業体質を追求する

（ 基本戦略 ）

東北・新潟の
お客さまとの
信頼関係維持・強化を
ベースとした
事業環境変化
への対応

（ 主要施策 ）

- 本部・部門およびグループ会社間のさらなる連携強化による総合力の発揮
- 屋内配線・空調管工事と合わせた情報通信工事の受注拡大
- リニューアル営業の深掘りおよびアプローチ方法の拡張による受注拡大
- ZEB化や再生可能エネルギー設備等、CO₂削減に向けた技術提案による受注拡大
- 高経年化設備対策工事の確実な受注と基幹系統整備工事の着実な施工推進
- 調査・設計・施工・保守のワンストップサービスの強化
- 一般・官公庁向け営業の強化と徹底した原価低減の推進
- 資材調達部門の関与領域拡大による原価低減の推進
- アウトソーシング等の活用による業務効率化、原価低減の拡大
- 事業環境の変化に適応する機動力ある組織体制の追求
- 他社との協業による施工体制強化
- 抜本的な業務見直し、DXの取り組み加速および新技術を活用した効率化、生産性向上
- 情報システム環境の高度化によるグループ大の業務効率化

成長が見込まれる分野への経営資源の配分や新たな事業領域への挑戦により、
事業規模のさらなる拡大を目指す

— (基本戦略) —

成長分野への
展開加速による
さらなる
事業規模の拡大

— (主要施策) —

- 東北・新潟以外のエリア展開の強化による受注および収益拡大
- 再エネ関連工事の体制強化による受注および収益拡大
- ベトナム事業を起点としたODA案件を含めた海外事業の受注および収益拡大
- データセンター (DC)、地域熱供給 (DHC) 等、成長分野の受注拡大
- Beyond 5G等モバイル関連工事の受注拡大
- 東北電力との連携による「スマート社会実現事業」等関連工事の獲得
- 不動産事業やPFI事業等、建設業とのシナジーが見込まれる新規事業分野への挑戦
- 時代に適合した専門性を活かせる新たな工事領域への挑戦

「ユアテックの財産は人財である」との考えに基づき、
社員が夢と誇りを持って働くことができる職場環境の実現を目指す

— (基本戦略) —

— (主要施策) —

魅力ある
職場環境の
構築と人財育成の
強化

- 社員エンゲージメント向上のための人事諸制度改革
- 多様な働き方の推進と働きがいのある職場環境の構築
- 心身の健康づくりと組織活性化を目指した健康経営の推進
- 成長分野への展開加速も見据えた人財確保策の推進
- 若手社員の早期戦力化、各年代のスキルアップに向けた取り組みおよびベテラン社員による知識・技術・技能継承の推進
- 資格取得への支援による技術力の確保
- グループ会社・協力会社の人財確保および施工体制強化への支援

中長期的な企業価値向上とサステナビリティへの積極的な取り組みにより
社会の持続的発展に貢献する

— (基本戦略) —








(主要施策) —

5
サステナビリティ
経営の実践による
経営基盤の強化

- 事業所ZEB化、社有車EV化等、カーボンニュートラルに向けた取り組みの推進
- 大規模自然災害等への危機管理対応力の強化
- 適時・適切なコミュニケーション等によるステークホルダーとの信頼確保
- リスク管理の徹底によるコーポレートガバナンスの強化
- 風通しの良い職場風土の醸成による企業倫理・法令遵守の徹底

サステナビリティへの取り組み

ユアテックグループは、中長期的な企業価値向上と社会全体の持続的発展に貢献するため、積極的にサステナビリティへの取り組みを推進している。サステナビリティの推進にあたっては、ステークホルダーとの双方向のコミュニケーションを通じ、多様な活動の継続とステップアップにより、企業としての社会的責任を果たしていく

ユアテックグループの主な取り組み		関連するSDGs	
E 環境	カーボンニュートラルへの挑戦	<ul style="list-style-type: none"> ■再生可能エネルギー関連工事 ■環境配慮型設備(ZEB等)の提案 ■事業所新築時におけるZEB化の推進 ■社有車の順次EV化の推進 ■EV充電関連設備の提案 	
	循環型社会の形成	<ul style="list-style-type: none"> ■環境方針に基づいた環境負荷低減に向けた事業活動の展開 ■伐採木のチップ加工による再生利用 ■清涼飲料水の製造・販売・宅配事業におけるウォーターボトル・ボトルキャップおよびウォーターサーバーのリサイクル 	
S 社会	快適・安全・安心な暮らしと地域社会の実現	<ul style="list-style-type: none"> ■地域に根ざした社会貢献活動の実施 ■海外インフラODA案件の積極的な取り組み 	
	レジリエントな社会インフラの構築	<ul style="list-style-type: none"> ■設備工事を通じた電力の安定供給、災害対応力の強化への寄与 	
	多様な人財がイキイキと働く職場作り	<ul style="list-style-type: none"> ■ダイバーシティの推進(女性活躍、障害者雇用、男性の出生時育児休暇等、育児に関する休暇取得) ■生活習慣病予防対策を始めとした健康経営の推進 ■効率化・生産性向上に向けた働き方改革の推進 ■デジタル技術の活用や教育を通じたITリテラシーの向上 	
	様々なステークホルダーの人権尊重	<ul style="list-style-type: none"> ■差別・ハラスメントの防止 ■グループ一体となった労働安全確保に向けた安全文化のさらなる向上 	
G ガバナンス	健全で透明性のある企業経営	<ul style="list-style-type: none"> ■企業倫理・法令遵守の徹底 ■「コーポレートガバナンス基本方針」に基づくガバナンス体制の充実強化 	

創業以来の事業エリアである東北・新潟での事業のさらなる深化を前提として、
 主要な事業分野・エリアにおける事業規模・成長性等を勘案し
 『東北・新潟以外』、『海外事業』、『再エネ関連工事』、『リニューアール工事』の4事業を重点事業とする

市場(エリア)	海外	海外インフラ工事の受注拡大 (ODA案件等)	ベトナム国を起点とした 海外事業の拡大 (ミャンマー・バングラデシュ+1、 東南・南アジア中心)	海外工事の受注拡大 (洋上風力等)		今後、新たに取り組んでいく事業分野
	新潟・東北・ 新潟以外	隣接エリアへの段階的な進出	関東圏を中心とした 体制強化・収益拡大	北海道へのエリア拡大	移動体・機器据付、 ネットワーク構築工事等の 受注拡大	新規事業への挑戦 <ul style="list-style-type: none"> 不動産事業 PFI事業 蓄電池関連事業等
	東北・新潟	施工体制の拡充・強化による 収益確保	施工体制の拡充・強化による 収益確保 リニューアール工事受注拡大	施工体制の拡充・強化による 収益確保 (大型風力、太陽光等)	移動体・機器据付、 ネットワーク構築工事等の 受注拡大	
		配電・送変電工事	屋内配線・空調管工事	再エネ関連工事	情報通信工事	新規事業領域
事業分野						

事業分野・エリア	事業分析結果		概要
	2022年度実績 (売上高)	2028年度計画 成長性(売上高)	
東北・新潟	1,925億円	2,020億円	• 創業以来の事業エリアである東北・新潟での競争力をさらに高めて事業基盤を強化する
① 東北・新潟以外	167億円	264億円	• これまで注力してきた関東圏を中心に東北・新潟以外のエリアへの事業拡大をはかる
② 海外事業	89億円	291億円	• ベトナム国を起点とした事業拡大および社会インフラ整備事業を通じたODA案件等の受注拡大をはかる
③ 再エネ関連工事	148億円	277億円	• カーボンニュートラルに向けた再生可能エネルギー関連設備の建設気運の高まり等を捉え、体制強化を行うとともに蓄積したノウハウ、地理的優位性の相乗効果で事業拡大をはかる
④ リニューアール工事	345億円	423億円	• 従来のリニューアール営業に加え、(自社事業所へのZEB導入で得た知見をもとに)お客さまへの省エネ・ZEB化推進の提案によりさらなる受注拡大をはかる

※ 「東北・新潟」および「①東北・新潟以外」は「③再エネ関連工事」および「④リニューアール工事」と重複がある。「②海外事業」はグループ会社分を含む。

「既存事業の深化」や「成長分野への取り組み加速」に向けた経営資源の積極配分と人的資本の価値向上やDXの推進などへの投資により、経営基盤の強化をはかる

(今後の投資の方向性)

① 既存事業の深化

- リニューアル工事の深掘りによる受注拡大
- グループ一体となった施工体制の拡充・強化

② 成長分野への取り組み加速

- カーボンニュートラルへの取り組みの加速 (ZEB化、蓄電池関連事業等)
- 海外事業の拡大
- 東北・新潟以外 (関東圏他) の体制強化や将来を見据えた戦略的なエリア展開
- 本業とのシナジーが見込まれる新規事業分野への参画の検討・実施 (不動産事業やPFI事業への参画等)

③ 経営基盤の強化

- 人的資本の価値向上を目指した人財への投資
- DXの推進やデジタル技術を活用した業務変革

株式会社 トークス	路上・施設警備業、施設管理業務、不動産仲介・賃貸業務、保険代理業務、商品販売
株式会社 ニューリース	自動車、建設用機械および事務用機器等のリース業
株式会社 ユートス	送電工事の施工・保守点検および緑化工事の施工、プレハブ・備品のレンタル業
株式会社 ユアテックサービス	屋内配線・空調管工事の施工および保守点検、労働者派遣業務
株式会社 ユアテック宮城サービス	屋内配線・空調管・配電・発電工事の施工および保守点検、労働者派遣業務
株式会社 テクス福島	屋内配線・空調管工事の施工および保守点検、労働者派遣業務
グリーンリサイクル 株式会社	伐採木のリサイクル業およびリサイクル製品の製造・販売
株式会社 アクアクララ東北	ミネラルウォーターの製造・販売
株式会社 ユアソーラー富谷	太陽光発電所による発電事業
株式会社 ユアソーラー保原	太陽光発電所による発電事業
株式会社 ユアテック配電テクノ	配電工事の施工
株式会社 ユアテック関東サービス	屋内配線・空調管工事の施工および保守点検
株式会社 ユアソーラー蔵王	太陽光発電所による発電事業
空調企業 株式会社	空調管工事の施工および保守点検
YURTEC VIETNAM CO.,LTD.	屋内配線・空調管工事の施工および保守点検
SIGMA ENGINEERING JSC	屋内配線・空調管工事の施工および保守点検